

時空散走 ebino

距離：約10km サイクリング所要時間：約60分 ウォーキング所要時間：約150分

美しき百年駅舎から霧島連山を仰ぎ見て ～金松法然から宿場の松原、馬のセリ市跡まで～

～えびの駅(旧・加久藤駅)コース～

松原と耳墓

江戸時代、松原から人吉街道にかけて、ある時、追い剥ぎがいました。薩摩藩の役人が捕まえると実は福岡通り(加久藤・松原から粟下の道。現・市役所前の通り)の住民が全員、追い剥ぎの仲間でした。大騒動になって全員を処罰することになりましたが、あまりにも大人数なので首を斬るのではなくて耳を断りました。その耳を集めて葬った耳墓は人吉街道沿い(えびの市小田)に今も残っています。

13 加久藤町忠霊塔(馬のセリ市場跡)

旧・加久藤町の忠霊塔があります。この辺りで日露戦争後に馬のセリ市が行われるようになりました。一時期は千頭以上もの仔馬が集まり、九州、四国、中国地方からも買い手が来たといえます。見世物小屋、音楽隊、手品、リンゴやバナナの叩き売りなども出ましたが、戦後にセリ市開催はなくなり、現在のような住宅街へと変貌しました。

12 えびの焼窯元 大河平陶芸

えびので採取される土を原料として焼成し、陶器の色はえびの高原のススキの色を表現しています。茶器・酒器・日用雑貨などがあり、「みやざきの匠」として宮崎県知事より表彰されています。

11 松原(加久藤驛)の道標

松原は熊本・人吉街道の出入口にあたって数多くの旅人が行き来しました。明治時代には宮崎から定期馬車が出発し、小林などを経て13時35分に松原に到着しました。旅館が8軒以上もあり、中には3階建ての旅館などもあったとか。また料亭なども立ち並び、股賑を極めたといえます。しかし大正時代になって鉄道(吉都線、肥薩線)が開通すると人々の交通、流通経路が変わり、次第に松原は衰退していきました。松原(加久藤驛)の道標は、かつての松原の賑わいの名残です。

10 えびの市国際交流センター

外国料理の教室や民族音楽のコンサートなど多種多様なイベントや企画を実施し、えびの市民に国際交流の活動機会と場を提供しています。

9 日章学園九州国際高等学校

国内の高等学校では唯一のドッグラン(無料。利用する際には会員登録が必要)があり、看板犬のニッチーが楽しそうに走り回っています。実は、ニッチーは元保護犬で「いのちの教育」の一環として学校に引き取られました。また、全国でも珍しい「ホースセラピー(乗馬療法)コース」が令和8年度からスタート。高校生が馬の世話や乗馬体験を行いながら乗馬療法士の資格取得を目指します。
※お問い合わせ：0120-155-037

8 グリーンパークえびの

コカ・コーラのえびの工場に隣接し、工場見学(無料)が可能です。コーク館ではコカ・コーラの懐かしい自販機、ポスター、ボトル、缶、おもちゃ、グッズなど800点を超える貴重なコレクションが展示されています。※定休日：月・土・日・祝日・年末年始・臨時休館日あり。お問合せ：0984-25-4211

アウトドーステーションえびの

「道の駅えびの」内にあり、えびの市内で体験できるアクティビティの案内・紹介をしています。クロスバイクや電動アシストのマウンテンバイクのレンタルサイクルもあり、カフェも併設されていて人気です。

大正元年(1912)に加久藤駅が開業(平成2年・1990年にえびの駅と改称)しました。現在は無人駅ですが、JR吉都線の中で唯一、開業当時から残る木造駅舎で国の登録有形文化財にもなっています。歴史ある百年駅舎から出発して、えびのが誇る焼酎「明月」の明石酒造や「一願を叶えてくれる」金松法然さん、熊本・人吉街道の出入口で繁栄した松原や馬のセリ市の跡地などを巡ります。

えびの駅周辺の名店

えびの駅周辺にはいくつかの名店があります。チーズ饅頭が絶品の菓子店「メモワール」や地元の方に愛されている3つのラーメン店「武双」「みはら」「三幸」。松原の喫茶店「ピア」も地域住民の憩いの名店です。また三徳院近くの「門前屋さくら」は東海地方から移住してきた夫妻が経営し、名古屋名物の味噌カツが人気です。

1 えびの駅(旧・加久藤駅)

美しい木造駅舎で、えびの出身の黒木和雄監督の2003年の作品『美しい夏キリシマ』のロケ地にもなりました。映画の中では「霧野駅」という架空の駅名で登場しています。

2 明石酒造

明治24年(1891)、明石仁右衛門が創業した酒造メーカーです。昭和25年(1950)、戦後の物資不足で大変な時代に当時の社長・明石昭夫が「満月のように人々の心が円満になるような焼酎を作りたい」と代表銘柄の「明月」を作りました。

3 長谷ストア

地元住民ご用達の小売店です。焼酎、ローソク、線香がワンセットになった自動販売機があり、金松法然の参拝者に人気です。

4 間法山三徳院

三徳院から寄贈された盲僧琵琶3面と撥2枚をえびの市歴史民俗資料館が所蔵しています。琵琶の製作年代は18、19世紀頃のものと考えられ、撥の1枚には「新古今和歌集」「平家物語」の和歌が刻まれています。三徳院の明久上人は島津義弘公に召されて祈禱などを行い、また間者(スパイ)としても活動して伊東軍との木崎原合戦でも多大な貢献をしたといえます。

5 金松法然

江戸時代、どこからともなくやってきた金松法然さんは大酒飲みですが、超人的な法力で何度も地域住民の悩み事や問題を解決して救済しました。安永6年(1777)に往生しましたが、今も焼酎を持ってお参りする人が絶えません。

灰塚西矢倉の黄金伝説

昔、灰塚西矢倉に西矢倉城があり、「ヨケンどん」という城主がいました。ある年の元旦に城の女中が敵の存在に気づいて城主に忠告しましたが「元旦に敵など来ない」と無視しているうちに攻められて、あっさりと落城しました。ヨケンどんは「朝日と夕日のさす榎の木の下に黄金千貫、朱子貴を埋めた」と遺言して死んだといいますが、ちなみに遺跡などは確認されているので、城があったことは歴史的事実です。

※宮崎県 地域の魅力再発見支援事業

〈えびの時空散走プロデューサー〉陸奥賢 〈主催〉宮崎県、アーツカウンシルみやざき 〈えびの時空散走事務局長〉林田古都里 〈マップ制作〉フジワラトモコ 〈協力〉えびの市、下原田寿、グンジキナミ

※このマップは「えびの時空散走プロジェクト」のツアー時に使う独自資料ですがオープンソースとして提供されています。2025年6月現在のもので道路状況など変更の可能性があります。最新の地図などと照合しながらご使用ください。※マップの解説などは現地リサー、関連資料を参考にしていますが、専門家によって多様な意見があります。真実はあなた自身が現地を訪れて確認してみてください。